



学校だより

# 往来ヶ丘

令和5年度 第10号

令和6年2月20日発行

江津市立高角小学校

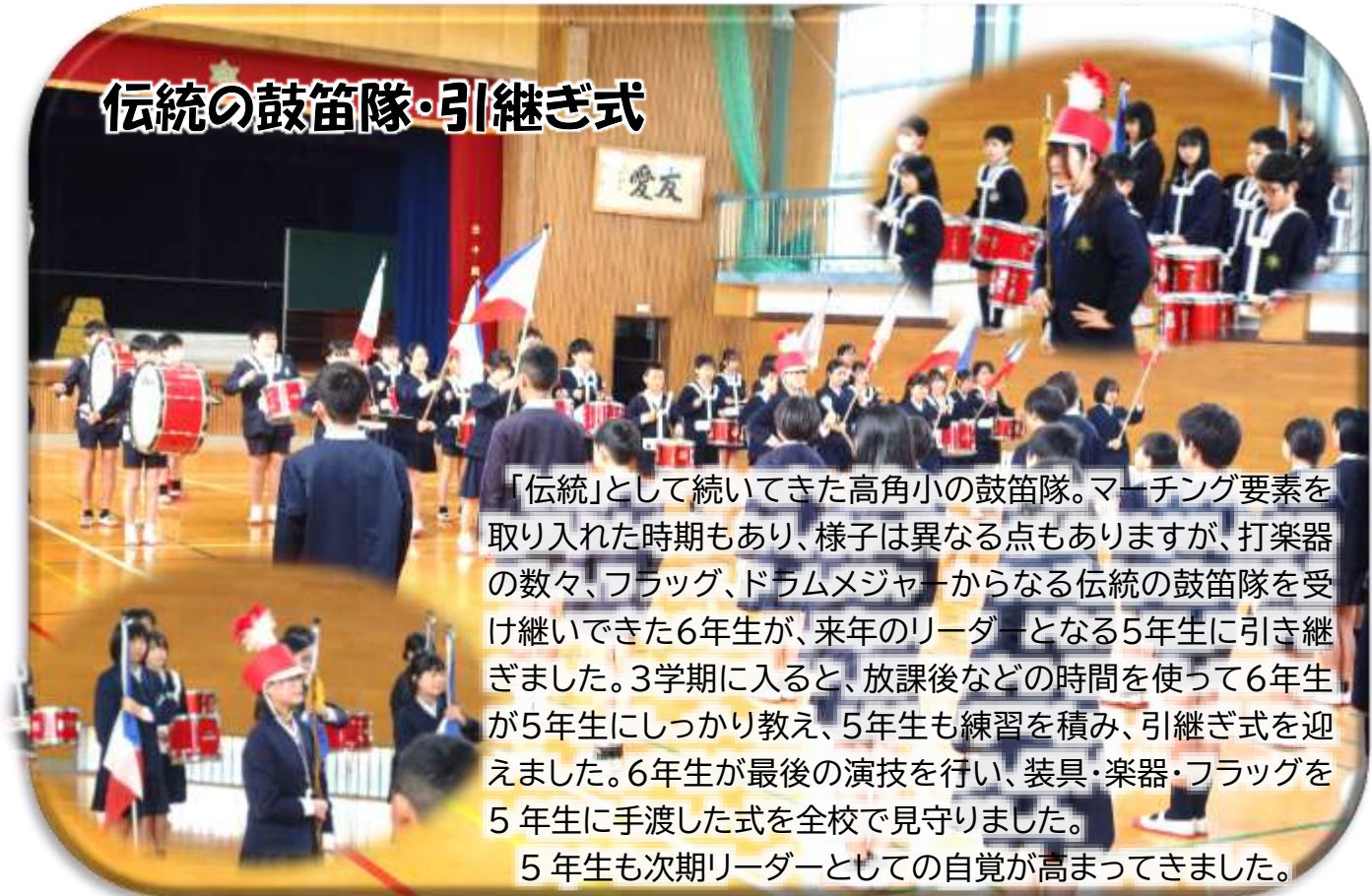
江津市嘉久志町イ 645 番地

文責:校長 舟木志郎

学校教育目標  
めざす子ども像

豊かな心とたくましさを持ち、確かな学力を身につけた子どもの育成  
たのしむ子 かかわる子 つづける子 のびやかな子

## 伝統の鼓笛隊・引継ぎ式

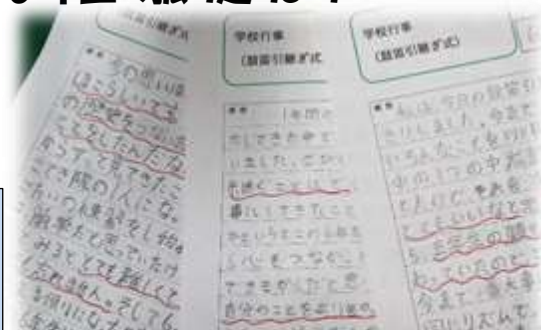


「伝統」として続いてきた高角小の鼓笛隊。マーチング要素を取り入れた時期もあり、様子は異なる点もありますが、打楽器の数々、フラッグ、ドラムメジャーからなる伝統の鼓笛隊を受け継いできた6年生が、来年のリーダーとなる5年生に引き継ぎました。3学期に入ると、放課後などの時間を使って6年生が5年生にしっかり教え、5年生も練習を積み、引継ぎ式を迎えました。6年生が最後の演技を行い、装具・楽器・フラッグを5年生に手渡した式を全校で見守りました。

5年生も次期リーダーとしての自覚が高まってきました。

○少しさびしいけれど、とても誇らしいです。伝統の歴史をつないだと思うと、自分はすごいことをしたんだなと思います。

### 6年生の振り返りより



○引継ぎ式を終えて、すっきりした気持ちや少し悲しい気持ちです。最後の鼓笛演奏を堂々と6年生としてやり終えたからです。

○次は5年生が代表として頑張らないといけないから、正確に丁寧に教えることをがんばりました。5年生が次は低学年を引っ張っていかないといけないから、頑張ってください。

○引継ぎ式をやったら、5年生の顔も6年生のような顔つきに変わっていたので、とても安心しました。

○5年生の時は自分のことしか考えないで鼓笛をやっていたけど、今はみんなで一つの鼓笛をやっているのが成長したと思います。仲間と協力してやることを大事にできました。引き継いで、悲しい気持ちもあるけれど、次は、見る人、聞く人としてして新6年生を中心とした鼓笛がとても楽しみです。



### 能登半島地震募金

「何か自分たちにできることはないか。」6年の児童の呼びかけを委員会活動として、募金を呼びかけました。多くの児童が参加してくれ、集まったお金を山陰中央新報社に寄託しました。保護者の皆様にはご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

山陰中央新報 R6.2.14 日の「能登半島地震義援金」のコーナーに「江津市立高角小学校児童会(江津市嘉久志町)4万 6625 円」と掲載されました。

### ICT 機器を使って

5年生は「石見ケーブルビジョン」のスタジオと、6年生は「はたらくを考えるワークショップ」の学習で東京や松江のスタッフとつないでのリモート学習で活用。6年生は文集づくりにもタブレットを使って取り組んでいます。

リモートでつながることで、遠くの人から直接説明を聞いたり質問したりすることができました。



### 入学説明会

来年度は40数名の新入生がやってくる予定です。入学説明会を開催し、保護者の方が説明を聞いている一方で、1年生が入学予定の幼児に学校の説明をしたりゲームをしたりして歓迎しました。

1年が過ぎ、お兄さんお姉さんになった1年生。あれこれ考えながら準備し、しっかりやりきりました。

### 冬は、縄跳び!!

屋外での運動・遊びがしにくくなる冬季、全校で縄跳びに取り組んでいます。取組の成果を発表し合う「縄跳び集会」を実施しました。始めに各学年、一人一人が自分のできる跳び方を一斉に披露しました。高学年の中には、難度の高い「二重綾跳び」を披露する児童もいました。

続いてクラスごとに「8の字跳び」で、大縄を一人ずつ跳んだ数に挑戦しました。どのクラスも練習した回数を超えようと目標を宣言し、挑戦しました。低学年は一人一人の間隔が広く、回数は伸びないものの、励まし合って取り組みました。高学年になるにつれ間隔が狭く、声が出るようになり、6年生は、息のあった掛け声とともに流れるような切れ目ない跳躍を披露しました。



**ありがとうございます** 江津市更生保護女性連盟から、「愛の図書」として、『トットちゃんの15つばのだいず』他の書籍の寄贈がありました。図書館に置いたら、子どもたちの目にとまり貸し出されていきました。

市の予算や各方面からの図書購入費の寄贈もあり、学校図書館の蔵書も充実しつつあります。学校司書の職員も児童の読書意欲を湧きたてる運営に取り組んでいます。

### 校内寸描

雪が積もると…。

雪が積もると、雪合戦に雪だるま(撮影の都合で翌日の姿)。雪が積もった時の子どもの遊びは変わらないものだと感じています。雪が積もることが少なくなり、登下校の心配は少ないのですが、やはり冬には雪がほしいものです。



### 編集雑記

GIGA スクール構想が進む中、児童はタブレットを使って文字を入力したり、資料として写真を撮影して活用したり、インターネットを使っての調べもの、ドリルを使った学習に取り組んでいます。一方、図書館の活用や図鑑や事・辞典、年鑑の活用方法の学習やノートに整理する学習も進めています。最新の研究では、電子機器を使った学習や生活と、書籍や「書く」ことを通した学習や生活の両立が大切と言われています。

一部の写真は加工をし  
てほかしています

ご質問・ご意見をお待ちしています mail: takatsuno-sho@gotsu.ed.jp  
カラー版は HP で掲載しています https://www.city.gotsu.lg.jp/site/takatsuno/